

平成19年度におけるインフルエンザワクチンの供給状況について

1. 平成19年度のインフルエンザワクチンの需給対策

- (1) 平成19年6月のインフルエンザワクチン需要検討会において、平成19年度におけるインフルエンザワクチン（以下、「ワクチン」という。）の需要量を1,940万本～2,080万本と予測（なお、接種シーズン前に世帯対象の需要調査を行い、需要において微減傾向があることが示された。）。
- (2) 一方、19年度のワクチンは、18年度のワクチン製造量（2,518万本）以上の2,550万本（1mL換算）が製造された。対前年度の製造量の1.3%増。
- (3) ワクチンの安定供給対策としては、平成19年7月12日付け通知で、各都道府県及び製造業者等、卸売販売業者、医療機関の各関係団体に対し以下のとおり依頼した。これにより、医療機関の過剰注文を防ぎ、卸売販売業者が保有する在庫の流動性を高め、仮需から実需への転換によるワクチン偏在の解消を目標とした。
 - ① 管内のワクチン在庫状況を短期間に把握し、不足時には融通可能な体制をあらかじめ確立すること、
 - ② 同時に全国ブロック毎の卸在庫量等を毎週集計し、関係者に提供し、各地域の需給調整に供する。
 - ③ 医療機関等からのワクチンの初回注文量が前年の使用実績を上回らないように確認すること
 - ④ 医療機関に分割納入すること
 - ⑤ 医療機関においては、シーズン終盤に大量に返品した場合に医療機関名の公表も検討する等
 - ⑥ 平成19年12月1日を目途に、未納品の予約の解除又は保留等の措置についてワクチンを予約している医療機関に理解を求めるよう努める。
 - ⑦ インフルエンザの流行時期は年により異なることを踏まえ、公費補助期間内での予防接種の実施を推進するために、啓発の強化等の検討を促すこと。
- (4) さらに、全生産量のうち40～60万本（以下「融通用ワクチン」という。）のワクチンを、製造業者等の協力を得て、地域における不足時の対策のため、保管することとした。

2. 平成 19 年度のインフルエンザワクチンの需給状況

- (1) 10 月 15 日の週から、全国ブロック毎の金曜日の卸在庫量等を毎週集計し、医療機関の累積納入量の推定値と共に、血液対策課から都道府県等の関係者に提供を開始。
- (2) 平成 19 年 12 月 14 日付け課長通知により、融通用ワクチン 40 万本については、製造業者等に対し、20 万本を一般に供給するよう依頼し、今後の融通用として 20 万本のワクチンを保管することとした。
- (3) その後、平成 20 年 1 月 25 日付け課長通知により、融通用ワクチン 20 万本については、製造業者等に対し、16 万本を一般に供給するよう依頼し、今後の融通用として 4 万本のワクチンを保管することとした。
- (4) 製造業者等からの 3 月末時点でのワクチン流通状況の報告によると、製造量が前年に比べて約 33 万本増の 2,550 万本製造されたのに対して、医療機関等での使用量（納入量－返品量）は 2,257 万本で、前年同時期と比べると 380 万本の増加（20.2%増）となっている。

3. 平成 19 年度のインフルエンザワクチンの需給状況の考察

- (1) 都道府県、医師会、流通関係者を始め、関係者の協力による所要の対策により、大きな混乱なく、需給が行われた。
- (2) また、融通用ワクチン 40 万本を確保したが、これを使用する機会はなく、12 月、1 月に順次解除した。
- (3) 返品を行った医療機関等の数は昨年度に比べて多く、返品を行った医療機関等の数は 63, 253 施設であり、全体の 42.3%であった（平成 18 年度は 52.3%）。なお、100 本以上の返品を行った医療機関等の数は、1, 827 施設（平成 18 年度は 2, 532 施設）、500 本以上では 52 施設（平成 18 年度は 103 施設）であった。
- (4) 医療機関からの返品数は、133 万本で製造量の 5.2%であり、平成 18 年度の 6.2%に比べて減少した。返品以外の未出荷等も含めて、製造量に対して 11.5%（293 万本程度）の未使用量が発生した（平成 18 年度は 25.4%）。
- (5) 平成 19 年度においては、十分な供給量があったことや、ワクチン偏在解消への取り組みなど都道府県、医師会、流通関係者を始めとする関係者の協力によるこれまでの多年にわたる所要の対策により、地域的なワクチンの偏在による供給不足は問題とはならなかった。

- (6) 地域的なワクチンの偏在による供給の過不足を最終的に国とワクチン販売業者の協力により調整できるよう、一定量のワクチンを予備的に生産・確保することが供給安定化を図るためには引き続き不可欠であり、このような在庫の生産・流通に対するコストについては、国やワクチンにより受益する関係者によって社会的に支えていく必要がある。

別表1: 配送エリア別卸売販売業者在庫状況一覧

(単位: 本(1ml換算))

基本エリア単位	都道府県	区分A	区分B	区分C	区分D	区分E	
北海道	北海道	239,303		C-① 12	D-① 4,854		
東北 (新潟含む)	青森					C-② 522	E-① 3,577
	岩手						
	宮城						
	秋田						
	山形						
	福島						
新潟							
北関東	茨城	27,824	B-① 16,594				
	栃木						
	群馬						
関東	埼玉	236,391					
	千葉						
	東京						
	神奈川						
甲信	山梨	25,834					
	長野						
東海	静岡	183,349	B-② 938		D-② 1,143		
	岐阜						
	愛知						
	三重						
北陸	富山	64,373			D-③ 2,266		
	石川						
	福井						
近畿	滋賀	233,717	B-③ 1,829				
	京都						
	奈良						
	大阪						
	和歌山						
	兵庫						
中国	岡山	80,895		C-④ 1,877	D-④ 638		
	広島						
	鳥取						
	島根						
四国	山口	44,030		C-④			
	香川						
	徳島						
	愛媛						
九州	高知	87,291	B-③				
	長崎						
	福岡						
	佐賀						
	熊本						
	大分						
宮崎							
鹿児島							
沖縄	沖縄	48,381					

※区分A～Eとは、卸毎に配送担当都道府県の範囲が異なるため、各卸の配送担当エリアに対応した区分毎の集計を行っている。

別表2: 販社、卸等在庫量一覧

(単位: 本(1ml換算))

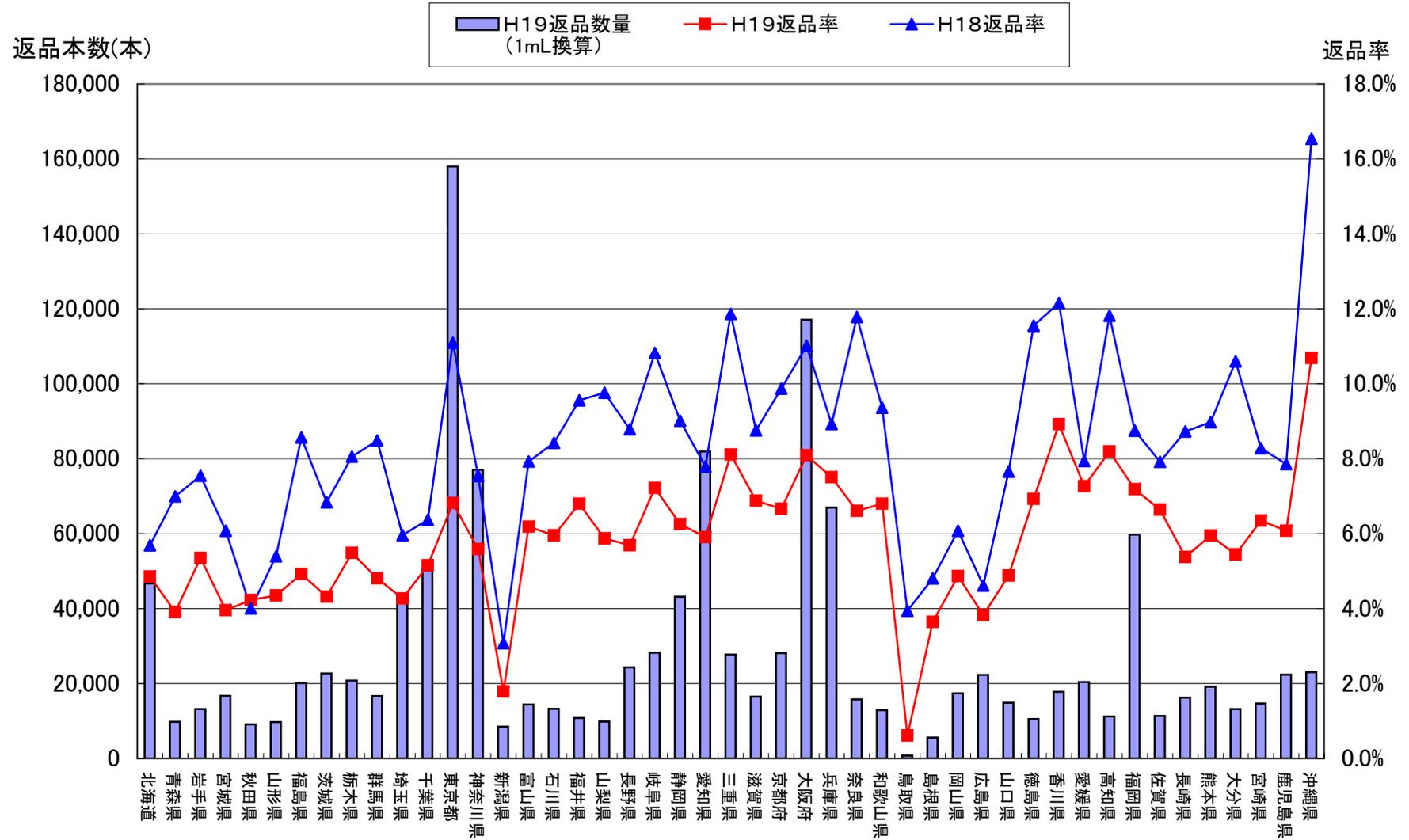
3/28現在供給本数	製造業者及び販売会社在庫量	卸在庫量	医療機関納入量	返品量
25,504,191	417,408	1,210,750	22,576,267	1,299,768

1. インフルエンザワクチンの都道府県別納入本数・返品本数

(3月31日締め・国内4メーカー集計)

都道府県名	H19返品数量 (1mL換算)	H19返品率	H19使用本数 (1mL換算)	H18使用本数 (1mL換算)	H18使用本数に 対する伸び率
北海道	46,715	4.9%	962,631	846,895	13.7%
青森県	9,793	3.9%	250,570	207,185	20.9%
岩手県	13,190	5.4%	246,400	208,643	18.1%
宮城県	16,734	4.0%	423,221	336,618	25.7%
秋田県	9,141	4.2%	216,178	183,679	17.7%
山形県	9,710	4.3%	223,361	189,854	17.6%
福島県	20,116	4.9%	408,634	338,850	20.6%
茨城県	22,721	4.3%	526,685	429,067	22.8%
栃木県	20,830	5.5%	379,935	318,558	19.3%
群馬県	16,635	4.8%	346,208	280,120	23.6%
埼玉県	43,600	4.3%	1,021,956	827,262	23.5%
千葉県	50,372	5.2%	977,657	797,842	22.5%
東京都	157,967	6.8%	2,316,883	1,882,920	23.0%
神奈川県	76,988	5.6%	1,378,295	1,125,377	22.5%
新潟県	8,498	1.8%	474,543	409,960	15.8%
富山県	14,400	6.2%	232,785	199,061	16.9%
石川県	13,239	6.0%	222,248	180,134	23.4%
福井県	10,834	6.8%	159,310	137,067	16.2%
山梨県	9,854	5.9%	167,732	141,720	18.4%
長野県	24,309	5.7%	427,240	350,890	21.8%
岐阜県	28,219	7.2%	390,809	330,628	18.2%
静岡県	43,132	6.3%	689,736	590,568	16.8%
愛知県	81,901	5.9%	1,386,380	1,167,619	18.7%
三重県	27,752	8.1%	342,245	282,792	21.0%
滋賀県	16,526	6.9%	240,289	196,276	22.4%
京都府	28,165	6.7%	422,838	344,405	22.8%
大阪府	117,031	8.1%	1,446,780	1,181,215	22.5%
兵庫県	66,960	7.5%	891,964	734,003	21.5%
奈良県	15,780	6.6%	238,791	195,694	22.0%
和歌山県	12,916	6.8%	190,061	162,536	16.9%
鳥取県	760	0.6%	123,853	107,845	14.8%
島根県	5,543	3.6%	152,076	133,608	13.8%
岡山県	17,401	4.9%	357,305	296,179	20.6%
広島県	22,289	3.8%	581,973	487,962	19.3%
山口県	14,857	4.9%	304,215	257,343	18.2%
徳島県	10,543	6.9%	152,182	129,464	17.5%
香川県	17,801	8.9%	199,642	165,980	20.3%
愛媛県	20,378	7.3%	280,377	243,188	15.3%
高知県	11,186	8.2%	136,608	115,428	18.3%
福岡県	59,725	7.2%	831,054	686,702	21.0%
佐賀県	11,374	6.6%	171,273	146,151	17.2%
長崎県	16,220	5.4%	301,661	265,033	13.8%
熊本県	19,201	6.0%	322,662	266,995	20.8%
大分県	13,156	5.4%	241,712	204,268	18.3%
宮崎県	14,713	6.4%	231,644	195,873	18.3%
鹿児島県	22,368	6.1%	367,978	305,628	20.4%
沖縄県	23,059	10.7%	215,767	186,566	15.7%
合計	1,334,587	5.9%	22,574,335	18,771,638	20.3%

2. 都道府県別インフルエンザワクチン返品本数・返品率(平成20年3月31日現在)



3. インフルエンザワクチンの都道府県別納入・返品医療機関等施設数

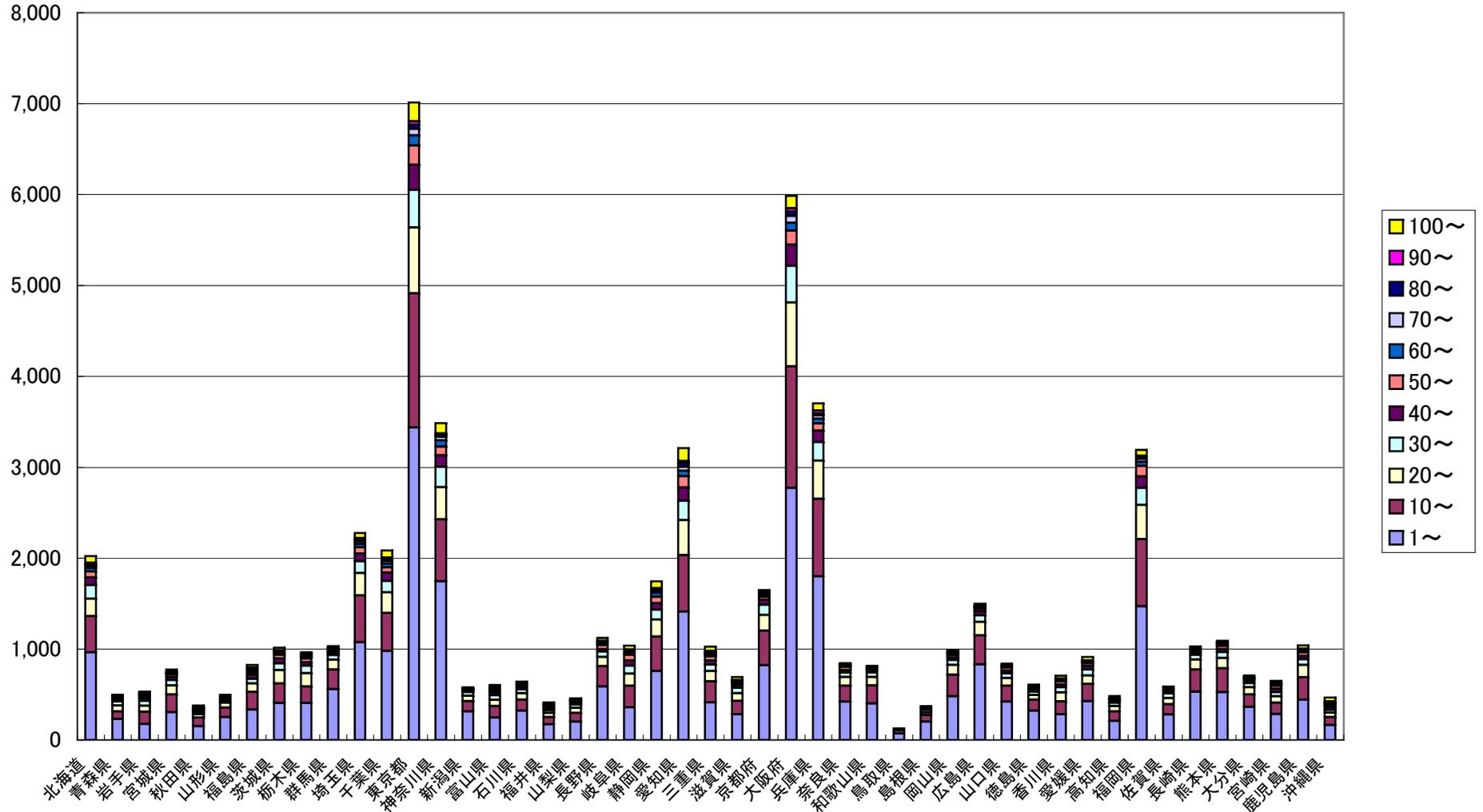
(3月31日締め・国内4メーカー集計)

都道府県名	納入のあった医療機関等施設数	返品のあった医療機関等施設数	返品医療機関等施設の割合
北海道	5,201	2,024	38.9%
青森県	1,497	498	33.3%
岩手県	1,395	531	38.1%
宮城県	2,531	774	30.6%
秋田県	1,190	380	31.9%
山形県	1,390	498	35.8%
福島県	2,292	827	36.1%
茨城県	2,937	1,015	34.6%
栃木県	2,618	966	36.9%
群馬県	2,538	1,033	40.7%
埼玉県	5,145	2,278	44.3%
千葉県	4,738	2,086	44.0%
東京都	16,187	7,014	43.3%
神奈川県	8,253	3,486	42.2%
新潟県	2,916	579	19.9%
富山県	1,278	605	47.3%
石川県	1,393	641	46.0%
福井県	895	412	46.0%
山梨県	958	459	47.9%
長野県	2,779	1,124	40.4%
岐阜県	2,262	1,037	45.8%
静岡県	4,040	1,745	43.2%
愛知県	6,686	3,211	48.0%
三重県	2,275	1,027	45.1%
滋賀県	1,425	693	48.6%
京都府	3,738	1,650	44.1%
大阪府	11,961	5,985	50.0%
兵庫県	8,056	3,702	46.0%
奈良県	1,793	847	47.2%
和歌山県	1,640	816	49.8%
鳥取県	899	126	14.0%
島根県	1,077	370	34.4%
岡山県	2,623	992	37.8%
広島県	4,326	1,498	34.6%
山口県	2,019	841	41.7%
徳島県	1,261	609	48.3%
香川県	1,490	708	47.5%
愛媛県	1,913	915	47.8%
高知県	1,045	483	46.2%
福岡県	7,027	3,192	45.4%
佐賀県	1,315	588	44.7%
長崎県	2,771	1,030	37.2%
熊本県	2,717	1,092	40.2%
大分県	1,693	709	41.9%
宮崎県	1,594	651	40.8%
鹿児島県	2,567	1,040	40.5%
沖縄県	1,302	466	35.8%
合計	149,646	63,253	42.3%

※各施設数については、累計のため重複あり

4. インフルエンザワクチン返品本数毎の医療機関数(都道府県別)

医療機関数(のべ施設数)

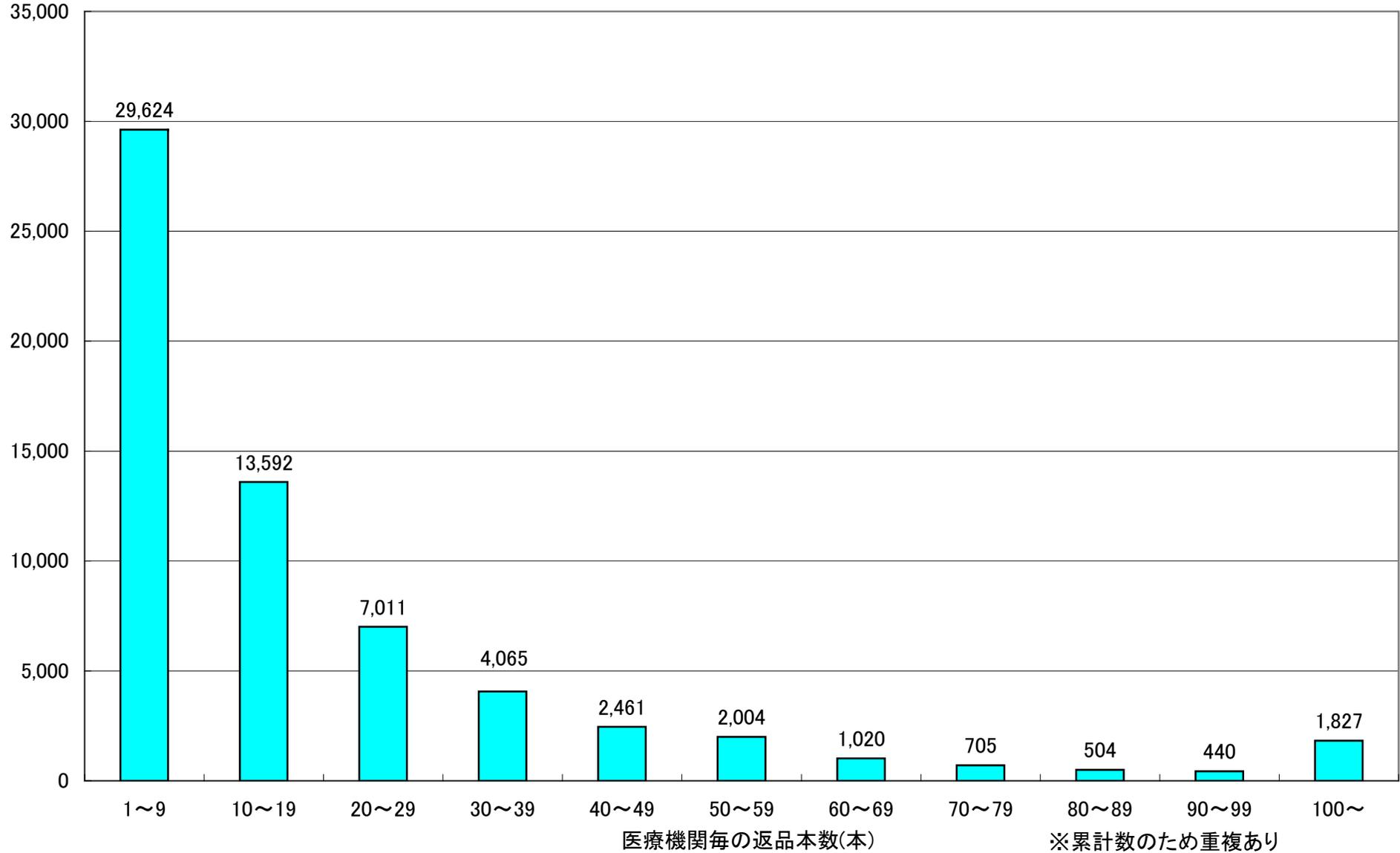


※累計数のため重複あり

5. インフルエンザワクチン返品本数毎の医療機関数(返品があった全国計63,253施設の内訳)

医療機関数(のべ施設数)

平成20年3月31日締め



6. インフルエンザワクチンの返品本数毎の医療機関数(100本以上)

